

G-11

ヒアリ防除における侵入初期での効率的な モニタリング戦略の策定

有子山 俊平（東京工業大学環境・社会理工学院／グローバルリーダー教育院）

藤岡 春菜（東京大学大学院総合文化研究科 博士前期課程1年）

皆さん、ヒアリってご存知ですか。去年神戸とかに入ってきた刺すアリですね。ヒアリの防除は早期発見がとても大事だと言われています。というのは、生物多様性だとか農業だとか公衆衛生にダメージがあるんですけども、新規営巣時、新しく巣を作るときに、女王アリって最大で5キロ飛ぶんです。なので早く見つけないと5キロ飛んで5キロ飛んで5キロ飛んでってどんどん拡散していっちゃうので早く見つけたい。徹底したモニタリングというのはかなりコストが大きいんです。なのでどこか単一の権力だけがこれをモニタリングを実行するのってすごいお金がかかるよね、ってことで僕からの提案として、市民参加でモニタリングができませんか、ということを提案したいです。

インターネットでヒアリの発見報告とかで調べるとあんまりないんですよ。あんまりないとか、すごい使いづらいシステムがでてくるので、正直僕としてはちょっとイケてないかなって。なのでいつでもどこでもアクセスできる使いやすいシステムがほしいよねっていうことで作りました。G11 番でデモを行なっています。あとで見に来てください。

直感的で分かりやすい、素晴らしいものなんですけど、課題がありまして、情報の信頼性をどうするのか、市民参加をどうやって創起するのかといった課題があります。みなさんのアイデアがほしいです。

以上です。

G-11 ヒアリ防除における侵入初期での効率的な モニタリング戦略の策定

有子山 俊平（東工大・グローバルリーダー教育院），藤岡 春菜（東大院・広域）

背景： ヒアリ防除には早期発見が重要

- 生物多様性、農業、公衆衛生へのダメージ
- 新規営巣時に女王蟻は最大で **5 km 分散**
- 徹底したモニタリングは**コスト多大**



Christian S. 2009. Biosecurity 93, 38-39

➡ 市民参加：モニタリング

どうすれば市民の力でモニタリングできる？

手法： 発見情報の位置記録・共有できるシステム

- 発見位置の記録・共有・閲覧がしたい
 - いつでも、どこでもアクセスできる
- ➡ **オンラインの記録・共有システム**

ヒアリマップ



これまでのシステム

- 利用登録が必要
- 情報過多
- ページが難解
- 結果反映が非リアルタイム

利用の精神的ハードルが高い

ヒアリマップ

ページ上部から簡単な指示に従うだけで記録・共有ができる

老若問わず、**頑張らずに報告**ができる

今後の目標

多くの人に使ってもらい発見情報を集める

- 課題**
- 予算（人件費，サイト維持費，etc.）はどこで調達？
 - 安全性と情報の信頼性（個人情報保護、いたずら防止、判別ミス防止）はどう担保？